

大労連発第314号  
2012年 7月 9日

加盟組合 御中

全大阪労働組合総連合(大阪労連)  
議長 川辺 和宏 [印・略]  
(担当:菅 義人)

生協労連関西地方連合会  
執行委員長 宮沢 寛 [印・略]

生協労連大阪府連合会  
執行委員長 土橋 豊 [印・略]

オレンジコープ労働組合  
執行委員長 松尾 修 [印・略]

## 生協労連オレンジコープ労働組合 不当解雇撤回！ 泉南生協・笠原理事長への要請FAX集中のお願い

日々のご奮闘に敬意を表します。

さて、昨年10月に雇用不安や長時間・不払い労働などから安心して働ける職場を目指して、泉南生協（オレンジコープ）で働く仲間が労働組合を結成しました。組合結成後、泉南生協・笠原理事長は初の団体交渉の席上で「全労連は共産党」「共産党は爆弾を作っている」などと思想攻撃を繰り返し、その後も労組員のみを職場から隔離・排除を行い、再三の団交申し入れにも「虚偽の文書を作成した」「順序が違う」などと執拗に言いがかりや引き延ばしを行って団交を拒否し、やむなく大阪府労働委員会に団交拒否についてのあっせん申請を行うや、ついには「希望退職を募集したが予定人数に達しなかった」と労働組員5名のみ、6月30日付で一方的に解雇通知を郵送してくるという暴挙を行いました。更には“不当解雇は認められない”と7月2日に就労意思があることを示しに職場へ行く「警察を呼ぶぞ!」と、本当に警察が呼ばれました。このように笠原理事長は、労働組合を結成してから不誠実な対応を繰り返し、これまでまともな話し合いには一切応じていないどころか、一方的に解雇しておきながら、その理由すらも示さずに事務所に「立ち入り禁止」の立て看板を設置して当該組員を事務所に入れられないなど、常識的な対応からは完全に逸脱しているといえます。

一方、7月5日に行われた大阪府労働委員会でのあっせんにおいて、7月14日（土）に団体交渉を開催することを認めさせることができました。しかしながら、解雇という暴挙を行った反省も、誠実に交渉に応じる姿勢も全く感じられず、このまま団交を行っても、また思想攻撃に終始することも十分に予想されます。

つきましては、このような労働組合潰しのあからさまな不当解雇の撤回と思想差別をやめさせ、誠実に団体交渉に応じるよう、緊急要請FAXの集中に取り組むこととしました。

何かとお忙しい中を恐縮ではございますが、泉南生協・笠原理事長に対する、要請FAX集中のご支援を心よりお願い致します。

### 記

①2012年7月9日（月）より13日（金）までの間にお願い致します。

②要請内容及び要請の例文は別紙にて

③FAX番号 072(483)0233

泉南生協理事長 笠原 優 殿 宛て

\*恐れ入りますが、FAXして頂きましたら、生協労連大阪府連にも同様のFAXをお願いします。FAX 06(6779)5350

以上